



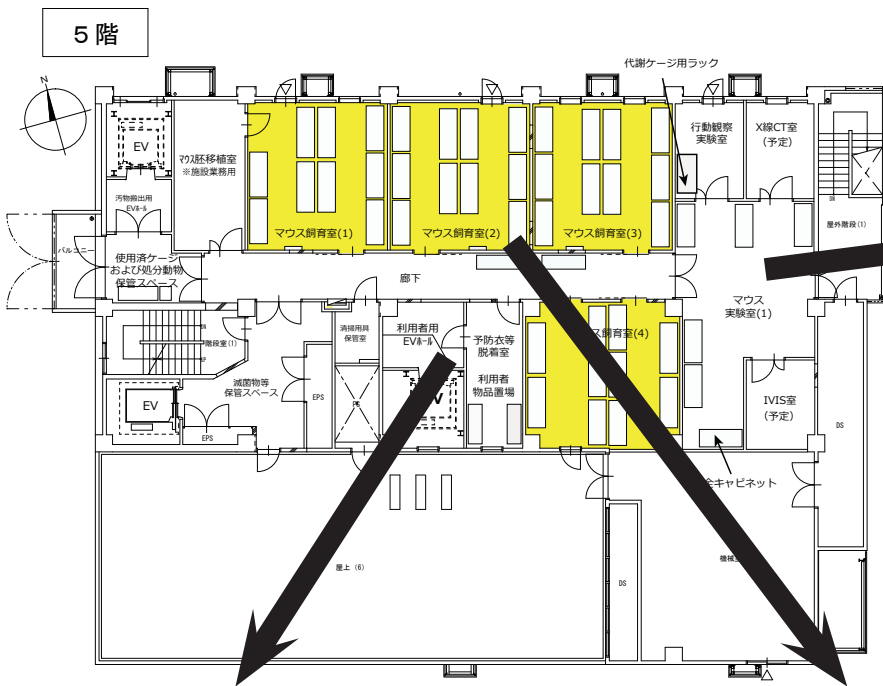
岡山大学自然生命科学研究支援センター
動物資源部門鹿田施設
Newsletter

2016
May 18

岡山市北区鹿田町 2-5-1 TEL 086-235-7445 FAX 086-235-7433 e-mail: animal@md.okayama-u.ac.jp
ホームページ <http://www.cc.okayama-u.ac.jp/~animal/>

 **動物資源部門鹿田施設各フロアのご紹介**

動物資源部門鹿田施設機能改善改修に際しましては利用者の皆様に多大なご協力を頂き、誠にありがとうございました。予算の都合上設備等、まだまだ不足しておりますが、今後も徐々に整備を行っていく予定です。今回から数回にわたり、各フロアのご紹介をさせていただきます。今号では5階を紹介いたします。



広く、明るくなった実験室。照明コントロール機能を備えた行動観察実験室も整備しました。



新たな指静脈認証システムを導入しました。利用者が入室可能な領域を個人別に設定可能、リアルタイム入室状況のチェックも可能になりました。施設内の動線管理を厳格化でき、病原微生物感染事故防止の強力なツールになります。



各階にあった洗浄室を1階に集約し、空いた空間を転用することにより、改修前より560ケージの収容能力増としました。一部の壁を撤去し、飼育室内の空間を拡張することで作業性を改善しました。また、従前は夜間退出時に照明を消し忘れ明暗サイクルが乱れる事例が多々ありましたが、人感センサーに置き換えることで消し忘れをなくし、利便性も向上させました。



血球計数・生化学測定サービスのご紹介



動物資源部門鹿田施設では血球計数・生化学測定サービスを行っております。2015年度には合わせて100件超のご依頼を頂きました。施設に検体をお持ちいただければ、職員が測定を行い、メールにて結果をご報告いたします。

利用を希望される方は担当（藤井, 内線 7445）までご相談ください。

☆血球計数測定項目☆

○イヌ・ネコ・ウシ・ウマ（20項目）

WBC・RBC・HGB・HCT・MCV・MCH・MCHC・PLT・LY%・LY#・MO%・MO#・EO%・EO#・GR%・GR#・PCT・MPV・RDW・PDW

○ラット・マウス（12項目）

WBC・RBC・HGB・HCT・MCV・MCH・MCHC・PLT・PCT・MPV・RDW・PDW



☆生化学測定項目☆

一般化学	酵素	その他
グルコース(Glu)	GOT(AST)	Na-K-Cl
尿酸(UA)	GPT(ALT)	ヘモグロビン(Hb)
総コレステロール(T-Cho)	LDH	
トリグリセライド(TG)	GGT(γ -GTP)	
尿素窒素(BUN)	アミラーゼ(Amy)	
総ビリルビン(T-Bil)	ロイシンアミノペプチダーゼ(LAP)	
カルシウム(Ca)	アルカリフォスファターゼ(ALP)	
総タンパク(TP)	クレアチンキナーゼ(CPK)	
アルブミン(Alb)	クレアチンクリアランス(CKMB)	
無機リン(IP)	コリンエステラーゼ(CHE)	
マグネシウム(Mg)		
HDL-コレステロール(HDL-C)		
血中アンモニア(NH ₃)		
クレアチニン(Cre)		



部門内での毒劇物の保管はできません

毒劇物に該当する薬品の施設内での保管はできません。「毒物及び劇物取締法」に基づく「国立大学法人岡山大化学物質管理規定」により、毒劇物は施設のできる専用保管庫に保管しなければなりません。部門では施設のできる保管庫を用意できないことから、毎回持ち帰って頂くようお願いさせて頂いておりますが、動物資源部門内を点検すると、麻酔薬、特にイソフルランを保管している事例が散見されます。

規定違反事例となりますので、面倒でも必ず毎回持ち帰って頂きますよう、ご協力のほどよろしくお願い致します。また、和光純薬より一般試薬としてイソフルランが販売されておりますが、効能は同じですので、こちらも持ち帰りの対象となります。